

恒一君は思春期

九重 朱音

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

Anotherの虹がありませんのでとりあえず。

小説版を既読であつて欲しいですね、日記形式です。なので短めです。時系列は全て小説版準拠です。

おふぎけ、不謹慎ネタが好きでない方はブラウザバック願います。

彼も男子中学生です。黒歴史製造は仕方ありません。

誤字は中学生ですから、わざと違う漢字をあてがつて面白がつたりもするでしょうから、それも楽しみの内ということをお願いします。

目次

エピソード	17
八月	13
七月	10
六月	7
五月	4
四月	1

四月

三年三組の話、知ってる？
さわやか？

夜見北の、三年三組。

ああ、不幸が続いている？

そう、沢山亡くなってる。

今年最後の人、自殺だったんだって。

へえ、そうなんだ。

ただ、さいやく？は終わったはずで、何で自殺したのか良く分かって無いんだって。

なにそれ、イミフ。

その災厄っていうのが重要で、ある年には毎月誰かクラスに関わりのある人が亡くなってしまっただって。

なにそれ怖い。

しかも、その話の詳細を広めると、

広めると？

その広めた人も、広められた人も危ないとか

なにそれ怖い。

ちよつと小耳に挟んだだけだから、詳しくは知らないから、大丈夫
だと思うよ。

それ、本当でしょうね。

多分、きつと、m a y b e

このお調子者めっ！

・
・
・

四月

日記を書いてみる事にした。

最近は物騒なことが多いし、ちよつと困ったことに事件を起こした

犯人の名乗っている名前がまずい。

最近では、名前の事だからかわれる事が多くなった。そりゃ、回りの人からすればただの冗談なのかもしれないけれど、自分にとっては冗談じゃ済まない部分もある。

まあ自分の立場で無ければ、自分も一緒になつてからかっていたかもしれないけれど。

上に書いたように、取り留めのないことを、ただ普通の日常を書いていきたい。

とりあえず、三日坊主にならないように気をつける事にする。

四月二十日

目が覚めると病室で、じわじわと痛む胸に何があったのかを思い出した。

榊原という名字は、自身に気付かれずに大きなストレスも感じさせていたらしい。

四月二十九日

入院から一週間とちよつと経つた。見舞いに来てくれた玲子さんとおばあちゃんには深く感謝している。

不気味な眼帯人形少女との遭遇や、やたらと手を握りたがるクラスメイトと名乗る同年代の人との不審な出会いがあった中で、気楽に入院生活を送れたのは若いナースの水野さんと叔母の怜子さんのおかげだ。

病院の中で話の合う人はなかなか貴重で、もしかしたら話を合わせてくれていたのかも知れないけれど、水野さんには本当に感謝している。

桃色のナース服を着た水野さんは、ちよつと年上だけどとても可愛い。

久しぶりに会った怜子さんは、頼れる大人といった雰囲気漂う美人さんだった。

母がまだ生きていればこんな感じだったのか、知る術は無い。

穏やかな眼差しをした年上お姉さんといった感じで、とてもジブンノ年齢の倍はあるなんて信じられない。

着替えなど、生活必需品を病院まで持って来てくれたおばあちゃんにも感謝。

五月

五月六日

ゴールデンウィーク明けの水曜日、朝早くにきた父からの電話の内容を軽く流して登校する。

この人はタイミングが良いんだか悪いんだか分からない。

担任の久保寺よりかは、副担任の三神先生に相談しようと思心に決める。

担任は頼り無さげだし、副担任は美人で若いし。

女性の姿勢正しいフォーマルな姿には惹かれるものがある。

不気味眼帯少女の存在を確認しつつ、違和感を覚える。あの席だけ、強烈に暗いイメージがする。

風見と勅使河原という異色のコンビと知り合った。桜木という見舞いに来た時にやけに手を握りたがる少女にも会った。

足首に巻かれた包帯から、仄かなヤンデレ臭がした気がした。

五月七日

三神先生の美術の授業で、望月が媚びを売っていた。

勘違い野郎にしか思えない。

アイツはもう呼び捨てで良い気がする。なよなよしてる雰囲気だ
ちよい苦手。

三年三組には、何かがあるらしい。

勅使河原と望月は眼帯少女に近づいてはいけない？と言う。
意味が分からない。

千曳さんは、普通に近付き難い。

寂れた姿は物悲しく見える。

五月九日

病院にて経過を見てもらう。

水野さんに会えた。携帯の電話番号を交換した。

相変わらずお姉さんぶっているが、可愛いから良し。

ナース服姿は最高。
不気味な店発見。
こんな店を見つけちゃうとか、何かのフラグかな？

五月十五日

眼帯少女のストーキング失敗。しかし、不気味な店で眼帯少女と偶然、ぐうぜん出会う。(偶然と言ったら全て偶然なんだ)

眼帯少女、見崎の虚ろな魅力に引き付けられた。

以前、病院や第二図書室で会ったときと違い、大変優しい。いろいろ話を聞かせてくれた。

二十六年前は、母が中学三年生のはず。

中学生の母親。想像し難い。

五月二十日

重要そうなキーワードを残しておく。

二十六年前。

ハンサムな若い男の先生。

母は三年三組。

ミサキ

お酒を飲んだ怜子さんに、胸がどきどきする。色っぽい。

僕は思春期だぞ。

五月二十二日

水野さんから電話があつて、藤岡未咲という少女が眼帯人形少女に会った日に亡くなっていたらしい。

水野さんには弟がいて、自分のクラスメイトらしい。

電話越しに耳元で囁かれる感じが very nice!

水野さんを直接見られなかったのはとても残念。

五月二十六日

中間試験二日目、桜木さんの喉に傘が刺さって亡くなった。

見ちゃった。

途中退回はまずかったかな。

でも、眼帯少女のストーキングしたかったしな。
胸が痛い。

五月二十七日

病院で軽度の気胸と診断される。

親父の遺伝め。

五月二十八日

水野さんから電話があり、今度病院で会う約束をする。

感謝感激雨あられ。

プライベートでも会いたいです。

六月

六月二日

病院にて診察後、水野さんと落ち合う。

もう沙苗さんと名前と呼んでしまっても良いのではなからうか。

キュートな青い小型車に乗る沙苗さんベリーキュート。

眼帯少女ミサキ曰く、始まってしまっただらしい。

相変わらずの不思議ちゃん。

十五年前、怜子さんは夜見北三年三組だったらしい。

弱々しい怜子さん、美人さんの弱々しい姿、ぞくぞくする。

六月三日

風見君の硬い微笑キモ。

祖母の手作り弁当に大いなる感謝。

勅使河原に六月になったら詳細を話すという約束の履行を求める

ものの、断られる。

そんな最中に沙苗さんから電話ひゃっほー！

電話中にザザガガ雑音がうるさい沙苗さんの声聞こえないだろ。

ドーン。

苦しげな呻き声が聞こえて電話が切れた。

夜になって、水野沙苗さんの死亡を知った。

you are ではなく、i am shock!

六月四日

＜死者＞は、誰ー？

三神先生休みでとても残念。明らかに三神先生だとわかる女性を

描く望月に引く。

千曳司書の居る図書室で、母の卒業アルバムを見る。

この人も何か訳ありそうだ。

警察に事情聴取された。

娘さんの写真見せてくれませんかね？

それ次第では口が軽くなるかもしれませんが？
久保寺冷たい。

六月六日

病院で診察。

水野さんの死を実感する。

あのナース姿が癒しだったのに。

望月キモ。

高林郁夫が死んだらしい。誰？

六月八日

三神先生に無視される。ショック。

クラスメイトに無視される。は？

久保寺に無視される。イラつく。

不思議系眼帯少女ミサキメイは実在少女だった。

(質問攻めは) 嫌いー！だけど、きょうは特別に認めます
ドヤ顔ミサキは可愛い。

三年三組の現象を知る。

気づかわしげな怜子さん、可愛い。

久々の父からの電話。

記憶に無い一年半ぶりの夜見山。

ザザーつと。心霊番組かつ！

六月九日

不思議系眼帯少女ミサキメイと酒鬼○薇恒一いなもの。

誰もが自分達を無視するしかないこの空間、ゾクゾクする。

六月十八日

千曳司書は千曳先生で母の恩師だったらしい。

初まりのミサキは夜見山岬、性別男。

火災で家が全焼して家族全員死亡。

その他細かい経緯を聞く。

いい歳したおっさんの鳴き言なんて聞きたくない。

母が亡くなった年はある年で、怜子さんが三年三組だった。

六月二十七日

怜子さんに十五年前のことを聞く。

災厄が止まった年らしい。

ただどしい返答を返し、頭を押さえる怜子さん。

頼れる大人な女性の雰囲気を漂わせていた怜子さんの弱々しい姿に、理性の崩れる音がした。

力なく項垂れる怜子さんに肩を貸し、そのまま離れまで一緒に着いていく。

目の前にある嫌な未来から眼を背けようと、ただひたすらに互いの熱を感じ求めていた。

六月三十日

眼帯少女に誘われて、霧果、sギヤラリー<工房m>に立ち寄った。

「榊原くんち、行ってみたいな」ってこれ、勘違いしても良いんですかね？

個人的には、まな板より包容力のある女性が好きなのですが。

眼帯少女がその眼帯を外すとき、ギャップ萌え効果によって心臓が高鳴る。

悔しい。でも、感じちやう！ドクンドクンツ!!

七月

七月六日、七日、八日

期末試験期間。

どうしても包帯少女サクラギンのことを思い出して、空気が重くなる。

あの日以来、怜子さんとはよく一緒に寝る事が多くなった。
包容力のある女性、安心感がパない。

七月十三日

キングの人間圧搾機を朝から読む。

現実と虚構は切り離して楽しめよう。

我らが担任クボデラーが教室に入って来たものの、様子がちよつち変。

絶望先生から発狂先生へと変態を遂げ、ロボットダンスで首を大ぶりのナイフだか包丁だかで刺した。

一瞬の静寂後、阿鼻叫喚。

ざんねん クボデラー は しんでしまった。

災厄は、もうどうにも止まらない。

七月十六日

最近によく悪夢を見る。青春ポイントー5

目が覚めると目の前に怜子さんのマシユマロが。青春ポイント+

10

テツシーとお話。青春ポイントー2

いないもので無くなる。青春ポイント+1

夜に怜子さんとお話。青春ポイント+3

合計青春ポイント+7

夜見山での合宿のとき、ナニかがあったらしい。

七月十七日

夜見山署の大庭さんとエンカウント。

大庭と聞くとどうしてもcross○channelを思い出してしまおうorz

娘溺愛お父さんオオバから電話番号を貰う。

それよりも、娘さんを僕にください！

チビキンに話を聴く。

司書千曳は生き字引。

七月二十一日

三神先生からホームルームで合宿のお知らせ。

理由は言わない。なぜなら、それがカッコいいから！

弱々しい怜子さんマジ女神

七月二十五日

インド in my daddy 陽介から、久しぶりのTELEPHONE.

デッド my mother 理津子の命日が明後日にあるから。

父親の惚気ほど鬱陶しいものはなかなかない。

七月二十七日

勅使河原からの呼び出し。

三神ラブの望月も居る。

知香さん美人。しかし人妻。

怜子さんと同期の松永克巳クンからの新情報。

「俺は悪くない」

それ犯人のセリフだから。

眼帯少女ミサキちゃんの携帯番号 g e t

七月三十日

旧校舎三組教室探索。

ズッコケ男子三人組は人気の無い教室で、ガムテープに巻かれたカセットテープを手に入れた。

裏モノVHSで無かった事に、少し肩を落とした。
テープを絡ませるバカ発見。

七月三十一日

小椋敦志（十九歳、無職）の死。

小椋敦志（十九歳、無職）の死。

小椋敦志（十九歳、無職）の死。

引きこもりの彼が大型工事用車両の車体の直撃を喰らい、魔法使いへの道は絶たれた。

彼のATFワールドは、ロンギヌスですらないデカブツのイチモツにブチ抜かれたのだ。

怜子さんとは最近毎日一緒に寝る。

お互いに互いを逃避場所になっている。

ただ、一時的な快樂しか得られなかったとしても、今この時間は安らかに過ごせる掛け替えの無いものだ。

怜子さんloveはママloveに入るのだろうか。

八月

八月八日

咲谷記念館にて、本日より合宿。

「引きこもり」の小椋敦志が死んだせいで、自室に閉じこもるのは安全とは云えない。

そのため、合宿の参加率は50%になった。

今の状況でこの参加率は大分高いのではないだろうか。分母は大分減ってしまっている気がするが。

彼の最後の仕事は、死して彼らを合宿に参加させることだったのかもしれない。

望月のコンパクトカメラってお前。

それ怜子さん撮るために用意した訳じゃないよな、アアん？

みんなと言っても写真に写ったのは5人だけ。

管理者の沼田夫妻は、ぶっちゃけヤバい人にしか見えない。

松永クンのカセットテープによれば、シ者を殺せば災厄も止まるらしい。しかし、このクラスにカヲル君は居ない。

<死者は、誰?>

夕食時、赤い悪魔イズミンによる弾劾裁判が始まり空気が悪くなってきたところで、喘息持ちの和久井が発作を起こす。

ナイスタイミング。

救急車を呼ぼうにも電話が繋がらず携帯も圏外。クロスケ千曳、

s カーで病院へ。

雨に濡れ、弱々しい表情を浮かべる三神先生ふつくしい。

眼帯少女と二人きりの部屋で話し込む。

4月には恐らく始まっていたこと、眼帯は目を封印する為のもの

だったことなどを。

眼帯少女に部屋に呼ばれている間に、勅使河原が幼なじみの風見（グリザイアの雄二ではないので弱々しい）をヴェランダから突き落としたりらしい。

いつかやるって思っていました。ドミネーターで色相チェックお願いします。

外に出る為に玄関に向かう途中、第三の眼に目覚めた。

食堂に誰かがいる。

結果的に、刺されて死にそうな前島と死んで燃やされている沼田・夫がいた。

外に出ると加害者テツシーと被害者眼鏡を亡くした眼鏡にあった。和解できると良いですね。

眼帯ミサキは他の子達を助けに行くそうです。

死にかけ前島君を安全な場所まで送る途中、萌える記念館から赤い悪魔イズミンの悲鳴が聞こえて、ナニかの爆発と共にイズミンと襲っていた誰かがヴェランダから落ちた。

おお イズミン よ しんでしまう とは なさけない。

おお まえじま よ いつの まにか しんでしまう とは なさけない。

故・赤沢と共に落ちてきた、彼女を襲っていたナニモノかはまだ生きていた、目があった、逃走だ。

にくげるんだよ。

誰かが襲われているような気もするけど、きくにしくない。

もうさ、今襲ってきてるあいつさ、ヴェランダから落ちて自分だけ助かるとかさ、あれが主人公で良いんじゃないやね？

と思いつながら後ろに、イター！

ヤラれるっと思うと同時にそいつに飛びかかる千曳さん。

彼が勇者だったのだ。

ここは任せて先に行けだどっ！ 惚れてまうやろっ！

門で勅使河原とエンカウント。

眼帯少女ミサキが居ないので t e l .

彼女は死者とエンカウント。

走って彼女の所まで来た自分は衝撃の事実を知る。

死者は、

もう一人は、

災厄の原因は、

三神先生だったのだ。

瞬間的に戻る記憶。

副担任なんて、他のクラスには居ない。

一年半前に、自分はヨミヤマに来ていた。

呆けていたジジイは、呆けていた故に記憶は正常だった。

九官鳥の名前、レーちゃん。

教室の机の数は、合っていた。

死者は、三神怜子さんだったのだ。

だから、死者は死に還す。

さよなら、れ・い・こさん。

彼女にとどめを刺して、心の痛みと共に気胸の痛みに襲われて、そのまま自分は気を失ってしまった。

八月十五日

氣胸の手術を終え退院を3日後に控えた今日、眼帯少女と望月が見舞いに現れた。

どうやら、今年の災厄は終息したようで、理不尽に毎月もたらされる死は回避出来るようだ。

2日前の大庭刑事の訪問には驚いた。思わず尻を隠してしまった。刑事の話によると、沼田妻は六月に亡くなった高林と言う人のグラマラしい。

私怨で狂っちゃったのか。

舌を自分で噛み切って自殺したらしいけど。

二人とそういった雑談をした後ミサキと二人きりになり、ちよつとした約束をした。

今日までの騒がしい出来事が終わった感じにホツとする。

せつかく心穏やかに過ごす為に田舎の学校に来たのに、全然休めた気がしない。

まあ、あと半年くらいはゆつくりできるだろう。

日記はしばらく休むことにする。

お疲れさまでした。

エピローグ

夏休みも今日で終わり、明日からは二学期が始まる。

あまり休めなかった夏休みに、もう少し休めないかと思いつつも、皆（女子）の制服姿に思いを寄せる。

こころがびよんぴよんしながら目覚めて、一日を過ごす。

ゆつくりとお風呂に浸かり、美味しく寂しく晩ご飯を食べた後に部屋に戻ってからゆつくりしていると、ふいにおばあちゃんが部屋に来た。

どうしたのかと尋ねると「今までのことは忘れましょう」などと、意味の分からないことを言われる。

そのまま部屋に取り残された自分は、呆然としながらその言葉の意味を考える。

考える。

何か、恐ろしい事が自分の知らぬ間に起きている気がする。

逃げちゃ駄目だ。逃げちゃ駄目だ。逃げちゃ駄目だ。

今までのことは忘れるとは？

忘れる必要のあることとは？

記憶は災厄のせいで多少こんがらがってはいるが、殆どは問題無い筈。

記憶。

記憶違い。

災厄による記憶の改竄。

改竄される記憶は、災厄に関わること。

死者に関わること。

もう一人の存在価値。

怜子さんの存在。

違和感を覚えないように、関係の薄い人物からゆつくりと記憶が変質していく。

しばらくの間、

怜子さんが不安定の間、

自分は怜子さんと一緒に寝ていた。

それが改竄される？

自分は誰かと寝ていたという記憶は残るが、

怜子さんと一緒に寝ていたという記憶は消える。

消えてしまうので、辻褄が合うように、

当然消えたところに誰かしらがあてがわれる。

自分が一緒に寝ていても可笑しいが可笑しくない。

改竄できる範囲で違和感の存在しづらい人間。

もしや、

もしや、自分が怜子さんと一緒に寝ていたという記憶は、

自分がおばあちゃんと一緒に寝ていたという記憶にすり替わっている？

自分は死者を殺した存在だから未だに強く記憶に干渉されてはいないが、

おばあちゃんは既に怜子さんは亡くなっていたものとして、記憶が復元されている。

誰が恒一と一緒に寝ていた？

怜子さんが居なくなつたその場所に、誰があてがわれた？

恒一はおばあちゃんと一緒に寝ていた？

記憶は改竄され、将来的には自分の記憶も同じように違和感無く改竄される？

「さよなら。」

ぼくの十五歳の夏は終わった。